

# 矢太神沼周辺の環境整備

1%まちづくり事業成果発表会 令和4年12月17日

団体名 矢太神沼周辺の環境整備の会

発表者 会長（大根区長） 荻原 善行

（大根区長代理） 川上 直哉

# 目次

1. 「矢太神沼周辺の環境整備の会」概要
2. 活動のきっかけ
3. 1%まちづくり事業に応募したきっかけ
4. 実施している事業内容
5. 今年度の活動と効果
6. 今後の課題

# 1. 矢太神沼周辺の環境整備の会概要 1

## ▶ 矢太神沼とは？

- ・ 太田市西部の  
新田大根町にある  
「国指定史跡矢太神水源」

## ▶ 歴史的には？

- ・ 石田川水源、縄文時代から  
地域の生活、農業に大切なもの

荒木土木(株)

群馬県立新田暁高

矢太神沼

株式会社 CHIGUSA JAPAN

大慶寺

(有)下酒井建材店

大根神社

(有)服部精研

創ヘアメイク

石田川水源

ほたるの里公園

ヘルワンス【就労  
継続支援A型・B型】

新田大根町

LeaLea

クボタクリーン精米屋

長明寺

太田市 綿打行政センター

JAにったみどり 綿打支店

群興(株)太田工場

ケーエム自動車

新田大根町  
交差点

有限会社深須製作所

69

砂場

妙参寺沼親水公園

Peluqueria

大根本郷集会所

石田川

前橋館林線

新田金井町  
交差点

太田市立綿打小

315

あかぎ信用  
組合 新田町支店

天田工業



# 1. 矢太神沼周辺の環境整備の会概要 2

だれが、どんな環境整備？

- ・ 昭和の時代まで、水源から水路・敷地を地域の人々が「草刈・堀さらい」
- ・ 平成17年～ 市議会議員や区長が荒れた水源周辺をきれいに、の現活動を企画・運営
- ・ 近年、地域役員・区民、育成会、スポーツ協会、老人会等の団体、市内ボランティアが毎年「草刈・堀さらい」

## 2. 活動のきっかけ、矢太神沼清掃活動の歴史

- 1) 昭和時代：石田川の水を田へ導く「掘りさらい」必須湧水池という清らかな水で絶滅危惧種植物が自生。  
⇒井戸が掘られポンプくみ上げへ 「堀さらい」不要、  
⇒矢太神沼 荒れつつあった  
⇒以前は手の入った石田川水源を蘇らせたい  
(当時の市議会議員・大根区長が企画・運営)
- 2) 18年前：旧新田町が太田市と合併した平成17年度から
- 3) 近年：絶滅危惧種の保護と水源の保全協力/周囲の整備で憩いの場

### 3. 1%まちづくり事業に応募したきっかけ

- 1) 継続した「皆の地域、親しめる憩いの場」づくり協力
- 2) 「国指定史跡矢太神水源」から太田市内で利根川に注ぐ石田川の水源の保全に協力
- 3) 水源～水路・周囲の葎や雑草を除去する設備・備品の充実
- 4) 絶滅危惧種「ミクリ」や「コウホネ」等の看板設置



## 4. 実施している事業内容

(毎年実施)

- ① 沼内や水路の葦刈り取り、抜根
- ② 沼・水路周囲の雑草・雑木刈り
- ③ 清掃実施の承認依頼と除去草木の片付協力  
(所管の太田市文化財課、依頼)

(令和2-3年)

- ④ 絶滅危惧種の写真付き表示、案内板の設置
- ⑤ 胴長ぐつ・刈払機の準備/清掃/保管 (大根区)

## 5. 今年度の活動と効果

①令和3年6-7月に4回の清掃活動

(1回は雨天休止)

新型コロナウイルス感染防止対応で

10-30人/回実施

②沼西側フェンス周辺の  
雑木/雑草の刈込、抜去

・沼葺の除去



③水路周囲の除草、  
水路の蘆除去



④絶滅危惧種の表示板設置





## 6. 今後の課題と対応案

①隣接公園の落葉樹の間引き、刈込

(花と緑の課へ依頼中)

②沼湖面・岸辺の整備 (希少植物の保護)

葦、水草・外来種・岸辺樹木の落葉の除去 (区民協力)

③沼底を浅くする泥の流入の低減

・泥土の堆積・流入・草木の着床防止

(フェンス/土台部老朽化対策＝文化財課へ依頼中)

④継続的協力と支援

今回の資料とりまとめの協力団体  
太田市教育委員会文化財課 様  
NPO法人 新田環境みらいの会 様  
誠にありがとうございました

ご清聴ありがとうございました